

龍活松文助 たつめ かつひら 國史學・造園學者。明治十七年一月九日東京築地
生れ、昭和二十六年歿（一八六〇—一九六二）。號枯山。學習院高等科を経て、
明治四十四年東京帝國大學文科大學史學科卒業。大學院に進み住宅史を
研究。青山學院、日本女子大學にて講義の傍ら、東京高等造園學校校政
と小參劃、のち校長となる。この間日本庭園協會、日本造園學會、日
本造園士會創設に加はり、また龍居庭園研究所を設けた。史蹟名勝天
然紀念物調査委員、文化財保護委員會專門委員を務め、早稻田大學講
師、東京農業大學教授を歴任。昭和二十二年紫綬褒章受章。

著書 『鎌倉の史話』(大正三年七月)、『赤城正藏』(アカギ叢書) (、
『庭園研究十五題』(大正十一年二月)、『日本國史講習會』(文化叢書) (、
『女性日本史』 (昭和八年五月五日章華社) (、『近世の庭園』 (昭和
十七年八月)、『十八日』(三書房) (現代叢書) (、『庭園龍の話』 (昭和
二十一年一月)、『二十五年』(植木株式會社出版部) (庭園シリーズ) (、『花』
(昭和二十五年十月)、『二十五年新樹社』等。

